

【ゲスト】

城浦さん

北海道在住で、北海道ガス株式会社でお仕事をしています。釧路高専の卒業生です。

木村さん

茨城県在住で、水戸市役所で土木のお仕事をしています。
現在は育児休暇中で、お子さんも連れてきてくださいました。

【司会】

大槻 香子 創造工学科 建築学分野 講師

お仕事の紹介をお願いします

城浦さん

お客様のガス使用の安全を守る「保安」というお仕事と、家庭でガスコンロが当たり前に見えるように、修理をしたり古くなったガス管を取り換えるお仕事もしています。

木村さん

道路など地面の上のものをつくるのが建築、下水管など地面の下のものをつくる仕事が土木の仕事です。例えば下水管がなかったら暮らしにくいですよね？そういう、人が暮らしやすくするお仕事をしています。

お二人とも、みなさんの生活を支えるお仕事ですね お二人はどんな中学生でしたか？

城浦さん

校外でのクラブ活動には参加せず、あまり積極的に友達を作ろうとしない中学生でした。（高専に進学してからは活発的に活動していたので）高専の先生や友人はイメージと違うかもしれません。

木村さん

理科が好き、社会が好き、というのはなくて、小説や漫画を読むのが好きで文系なことをやっていました。中学生の時は将来について考えていたわけでもなく、将来どうなるんだろうなって思いながら過ごしていました。

中学生の時に知っていれば良かったことはありますか？

城浦さん

もっと人と喋っていればよかったなって思います。

木村さん

将来のことについてもうちちょっと早めに考えていたら、それに沿った方向に進めたりとか、大学に進めたりできるので、良かったかなとは思いました。

城浦さんはどうして現在の職場に就職したのですか？

城浦さん

中学生の時点で「何になりたい」というのが無かったです。ただ早く就職がしくて、いろんな就職先がある高専に来ました。

高専では「技術職」で募集がかかることが多いんですけど、今の職場からは「総合職」で募集が来ていて。高専では電子科だったけど電気系の勉強もしたし、いろんな可能性があるならいいなって思って、就職しました。

だから、今なにになりたいとかなくても、全然いいと思う。いろんな人の話を聞いたりお話しして、それが嫌だと思わなければ、いろんなところにチャンスがあるなって思います。

木村さんのキャリアを教えてください

木村さん

中学校くらいの時には、映画がきっかけで、将来コブタを飼ってみたいと思っていました。その後、農業系の高校に入学しましたが、「コブタを飼うのは大変そうだから、代わりに環境のことを勉強したい」と思い始めたんです。

環境のことを勉強しに大学に進みましたが、「どうやら土木のことを勉強しているようだぞ」となって、土木職で市役所に入りました。

結婚で、住んでいた地を離れることになったときに、新しい土地でも前の仕事をいかそうと思ひ、今も現地の市役所で、土木職で働いています。

城浦さんは、高専生時代成績優秀でしたよね。日々勉強していたんですか？

城浦さん

勉強がそんなに嫌いではなかったんですよ。

中学生になって、自分が周り比べてどの位置にいるのかわかるようになったんですが、それなりの成績だったんです。そしたら、意地出てきて。城浦さんは成績が良いっていう印象を崩したくないっていう意地です。

木村さんは市役所に入るため凄く努力をされたと思いますが、どうして努力できるのでしょうか

木村さん

安定した仕事がしくて、市役所の仕事を調べたんですが、安定しているけれど事務職だと倍率は高くて。でも土木職の倍率は比較的良かったんです。その時に土木って仕事が、「おトクだな」って思って。結婚して北海道を離れて、茨城で就職することになった時も同じ状況で、そこで土木の道で行こうと決めました。

お二人のお話をきいた方が、やりたいことや目標、努力することを見付けてもらえればうれしいです。本日はありがとうございました。